



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ

コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 土屋 洋介 (TEL) 03-6361-7100

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	95,185	3.5	16,151	5.7	16,675	3.6	11,690	△0.3
2019年3月期第3四半期	92,010	1.2	15,280	1.0	16,094	2.6	11,731	△4.6

（注）包括利益 2020年3月期第3四半期 7,061百万円（△30.8%） 2019年3月期第3四半期 10,198百万円（△32.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	152.86	-
2019年3月期第3四半期	153.44	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	286,183	208,460	71.4
2019年3月期	287,322	206,141	70.2

（参考）自己資本 2020年3月期第3四半期 204,222百万円 2019年3月期 201,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	32.00	-	32.00	64.00
2020年3月期	-	32.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	32.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	3.4	17,000	△8.2	18,000	△8.6	12,300	△15.7	160.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	76,758,362株	2019年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	249,899株	2019年3月期	300,631株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	76,483,089株	2019年3月期3Q	76,457,945株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ3.5%増の95,185百万円となりました。

利益につきましては、営業利益16,151百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益16,675百万円（前年同期比3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,690百万円（前年同期比0.3%減）となりました。売上原価率は、前年同期に比べ0.4ポイント上昇しました。また、販管費率は0.8ポイント低下し、これらの結果として、営業利益率は前年同期に比べ0.4ポイント上昇し、17.0%となりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	2018年 第3四半期	2019年 第3四半期	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	92,010	95,185	3,175 (3.5%)
営業利益	15,280	16,151	871 (5.7%)
経常利益	16,094	16,675	581 (3.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,731	11,690	△41 (△0.3%)

医療用漢方製剤全体の売上高は、前年同期に比べ3.3%伸長しました。当社は、中期経営計画の戦略課題である、「漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立」に向け、「高齢者関連領域」「がん領域（支持療法）」「女性関連領域」を重点3領域と位置づけており、育薬5処方^{※1}やGrowing 5処方^{※2}を中心に情報提供活動を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、当社の主力品目であり育薬処方の大建中湯が、前年同期比で0.4%減少しました。あらためて病院市場での情報提供活動を徹底するとともに、開業医市場においても便秘症の症状のうち、治療満足度が低いと考えられる「腹部膨満感」に焦点をあて、新たな市場の獲得に向けた活動を強化してまいります。

同じく育薬処方の半夏瀉心湯、Growing処方の麦門冬湯、五苓散が堅調に推移しました。その他の処方では、人参養栄湯が好調に推移しました。

漢方医学に対する医療関係者のニーズは益々多様化しており、医師への面談、医療機関説明会、漢方医学セミナーを基本とし、基礎・臨床エビデンス、漢方製剤掲載の診療ガイドラインおよび漢方医学的な処方の使い分け等に関する適切な情報提供活動を引き続き実施してまいります。

※1 育薬5処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンスを確立することを「育薬」と名付け、取り組んでいる処方

※2 Growing 5処方：

育薬5処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン掲載を目指す成長ドライバー

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は286,183百万円で、前連結会計年度末に比べて1,139百万円の減少となりました。流動資産は、たな卸資産が増加した一方で、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べて4,701百万円の減少となりました。固定資産は、株価の下落等により投資有価証券が減少した一方で、投資その他の資産におけるその他の増加等により、前連結会計年度末に比べて3,562百万円の増加となりました。

負債合計は77,723百万円で、前連結会計年度末に比べて3,457百万円の減少となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、流動負債におけるその他の減少等により、前連結会計年度末に比べて2,732百万円の減少となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて725百万円の減少となりました。

純資産合計は208,460百万円で、前連結会計年度末に比べて2,318百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて6,947百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べて4,541百万円の減少となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて87百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は1.2ポイント増加して71.4%となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間末は、営業活動によるキャッシュ・フローが10,634百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが5,598百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが4,985百万円の支出となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、10,634百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益16,543百万円、支出項目ではたな卸資産の増減額5,470百万円であります。前年同期との比較では、8,363百万円収入が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,598百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出8,471百万円であります。前年同期との比較では10,085百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,985百万円の支出となりました。主な内訳は、配当金の支払額4,889百万円あります。前年同期との比較では、13,522百万円支出が減少しております。

以上の結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて718百万円減少し、55,525百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月9日に公表しました2020年3月期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,240	61,201
受取手形及び売掛金	44,524	47,773
商品及び製品	9,382	7,361
仕掛品	11,125	12,467
原材料及び貯蔵品	31,299	36,660
その他	21,459	19,865
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	190,027	185,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,800	64,802
その他	85,673	88,625
減価償却累計額	△76,769	△80,303
有形固定資産合計	73,703	73,125
無形固定資産		
	872	1,244
投資その他の資産		
投資有価証券	15,642	12,614
退職給付に係る資産	1,934	2,289
その他	5,143	11,584
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	22,719	26,488
固定資産合計	97,295	100,857
資産合計	287,322	286,183
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,267	6,820
短期借入金	10,314	10,314
未払法人税等	2,101	2,031
返品調整引当金	10	12
その他	14,626	11,410
流動負債合計	33,320	30,588
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	9,376	9,376
退職給付に係る負債	74	74
その他	8,410	7,684
固定負債合計	47,861	47,135
負債合計	81,181	77,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	14,027	14,041
利益剰余金	149,740	156,536
自己株式	△815	△677
株主資本合計	193,095	200,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,697	3,884
繰延ヘッジ損益	740	79
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	△313	△2,345
退職給付に係る調整累計額	△76	△111
その他の包括利益累計額合計	8,721	4,179
非支配株主持分	4,324	4,237
純資産合計	206,141	208,460
負債純資産合計	287,322	286,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	92,010	95,185
売上原価	37,403	39,151
売上総利益	54,606	56,034
販売費及び一般管理費	39,326	39,882
営業利益	15,280	16,151
営業外収益		
受取利息	315	438
受取配当金	231	253
持分法による投資利益	75	106
為替差益	158	—
その他	214	236
営業外収益合計	995	1,034
営業外費用		
支払利息	126	100
為替差損	—	270
その他	55	138
営業外費用合計	181	510
経常利益	16,094	16,675
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	324	332
特別利益合計	325	335
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	53	27
投資有価証券売却損	—	19
関係会社出資金評価損	—	419
特別損失合計	53	467
税金等調整前四半期純利益	16,365	16,543
法人税等	4,337	4,694
四半期純利益	12,028	11,849
非支配株主に帰属する四半期純利益	296	158
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,731	11,690

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	12,028	11,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	△1,813
繰延ヘッジ損益	△134	△661
為替換算調整勘定	△1,880	△2,256
退職給付に係る調整額	49	△34
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	△21
その他の包括利益合計	△1,830	△4,787
四半期包括利益	10,198	7,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,059	7,149
非支配株主に係る四半期包括利益	138	△87

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,365	16,543
減価償却費	4,743	4,808
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△547	△692
支払利息	126	100
持分法による投資損益(△は益)	△75	△106
有形固定資産除売却損益(△は益)	52	25
関係会社出資金評価損	—	419
売上債権の増減額(△は増加)	△2,723	△3,283
たな卸資産の増減額(△は増加)	△924	△5,470
仕入債務の増減額(△は減少)	220	716
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△324	△313
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△289	△416
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	11
その他	△8,824	1,446
小計	7,809	13,792
利息及び配当金の受取額	500	1,045
利息の支払額	△149	△121
法人税等の支払額	△5,888	△4,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,271	10,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△4,465	9,984
有形固定資産の取得による支出	△7,211	△8,471
有形固定資産の売却による収入	1	4
無形固定資産の取得による支出	△318	△469
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△11,502	△27,370
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	8,822	28,081
子会社出資金の取得による支出	△952	△4,273
貸付けによる支出	△1	△3,000
貸付金の回収による収入	3	2
その他	△59	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,683	△5,598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△15,000	—
非支配株主からの払込みによる収入	1,468	—
配当金の支払額	△4,887	△4,889
非支配株主への配当金の支払額	△54	△56
その他	△34	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,508	△4,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	△813	△768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,734	△718
現金及び現金同等物の期首残高	78,313	56,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,579	55,525

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）または流動負債（その他）として繰り延べております。